

徴収係の設置については、昨年  
の合併時に、徴収部門である税政係を  
3名増員し、さらに4月の定期異動  
により、新たな体制や手法で徴収事  
務を遂行しているところである。

滞納整理人数は、昨年は81人、今  
年度は318人で、237人の増、納  
付誓約書件数は、昨年は16件、今年  
度、既に73件誓約書をとっている。

これまでの取り組みや効果を十分  
検証し、全庁的な組織機構の見直し  
の中で検討してまいりたいと考えて  
いる。

申告受付は、申告支援システムを  
使用するため、各会場ともセキュリ  
ティーのあるネットワーク回線が必  
要なため、会場を各支所としたが、交  
通手段確保のためのバス輸送の方法

の周知が遅れたことによるご意見を  
いただいたところであるが会場での  
混乱はなかった。

一方、申告支援システムを使用す  
ることにより、1人当たりの申告時  
間が短縮された。本年度の申告受付  
は、本庁と支所のみを会場に、昨年  
と同様に実施し、金砂郷地区につい  
ては受付日数を3日間ふやすが、バ  
ス輸送方法等、早目に周知を図り、迅  
速で丁寧な申告受付を行ってまいり  
たいと考えている。

また、支所での税の相談について  
は、市民課での証明の発行から納税  
まで、税に関する部分是对応してい  
る。今後、支所との連絡を密にし、  
市民に税の理解を得られるよう努力  
してまいりたい。

## 山口恒男議員

### 1 子どもの安全について

痛ましい児童殺害事件が発生し、  
事件後の対応として防災無線の  
活用状況について。また、女子  
や子供などが危険な目に遭ったと  
きの駆け込み等に24時間対応でき  
るコンビニエンスストア・セーフ

ティステーションと本市との防  
犯・防災拠点の活用と連携の計画  
はあるのか。また、防犯ベルにつ  
いて、現在小学校全児童に貸与  
し、携帯されているが子供の安全  
の一助として、中学校全生徒にも  
携帯させるべきと思うが考えを伺  
いたい。

教育長 事件後の対応の中の防災  
無線の活用については、市民の協力  
を得るため、あるいは注意を喚起す  
るため、12月8日より防災無線の放  
送開始をしている。現在も週3日、  
月・水・金に実施をしている。年内  
はこの計画を進めていく予定である。  
その後については、状況を見て検討  
してまいりたいと思う。

コンビニエンスストア・セーフ  
ティステーションの活動内容につ  
いては、女子や子供などが痴漢や危険  
な目に遭ったときの駆け込み等に24  
時間対応できることが挙げられる。  
市内にはコンビニエンスストアが現  
在12店あり、緊急避難時の110番  
の家としても登録されている。比較  
的交量の多いところに設置されて  
いる状況があるので、子供の安全確  
保を図るためにも、コンビニも含め、  
地域が一体となって連携を図ること  
ができるようにしていきたいと思っ  
ている。

中学生への防犯ベルの対応につ  
いては、小学生のときに貸与された防  
犯ベルを進級時に引き続き使用する  
ことになっているが、児童・生徒が  
巻き込まれる事件が多く発生してお  
り、また使用期間も長いいため、更新  
配備に向け検討してまいりたいと思  
っている。

### 2 保健福祉について

がん検診について合併後の申し  
込み状況や特にマンモグラフィ検  
査の進捗状況。また、65歳から74  
歳までの前期高齢者について、退  
職者が国民健康保険に大量に加入  
となる等のため、今回の医療費制  
度改革があるが当市の取り組み方  
について。また一人暮らしの高齢  
者への緊急通報装置の利用等の現  
況について伺いたい。

保健福祉部長 各がん検診の申し  
込み状況は合併前の実績に見合った  
計画として実施しており、また今  
年度の検診結果はまだ継続中である  
ので、見込みどおり動いている。

マンモグラフィ検診については、  
本年度、里美地区を皮切りに、現在  
延べ23回、418人の方が受診され、  
本年度中に、あと2回の検診が予定  
されており、対象者は83人で、申し  
込んだほぼ全員の方が受診され、非  
常に高い受診率を上げている。

医療制度改革大綱の主な内容は、  
高齢者医療の窓口負担、高齢医療費  
の自己負担限度額、食事や光熱水  
費、居住費の自己負担等々の改定で  
ある。

さらに、3歳以上未就学児の自己

い農地を守っていくためには、小さな集落営農組織を中心に、ソバ、常陸大黒、青大豆などをつくりながら、加工、販売、そして生きがいを求めるといような活動が大事であると思っている。今後グリーンツーリズム関連の農業体験の事業とともに、普及センターや農協、関係機関と連携を図りながら、推進に努めてまいりたいと考えている。

市長 地域の農業は地域を守るといふことを大前提としたいと思う。今、農業従事者の高齢化が進んでいるなかで、団塊の世代の退職者、このパワーを生かさない手はないと考えているので、集落ごとにその営農組織を、どんな規模になるかはこれからであるが、そういう組織をつくり上げて、その中で退職者の方々のパワーも生かしながら、その地域の農業を守っていく、そんな形をつくり上げていくことが必要だろうと思っている。

なお、受託組織等については、既に立ち上がって活動している組織があるのでその組織についても大切にしていかなければならないと思っている。

いずれにしても、農地流動化の法的なこと、きちっとその農地を、権利的なものは守りながら、その中で

どう活用していくか。実行部隊は、これから合併する農協に、強くその組織づくりについて求めていきたいと思っている。

## 2 教育環境の整備について

児童の殺害事件が発生し、事件の抑止効果と監視体制を高めるために、公用車に「特別警戒中」または「防犯パトロール中」の表示をすることや登下校時の安全対策と監視体制の強化について伺いたい。また、平成18年度に、水府北小と金砂小が複式学級になることに伴う加配要望や学校の統廃合については、水府北小のPTAの会員と教育委員の話し合いをされたのか、さらに水府地区の小学校統合に関しての有識者による学校施設検討協議会の状況について伺いたい。

教育長 防犯ステッカーについては、後部窓ガラスに張るステッカーを12月9日より公用車に表示し、パトロールを実施している。なお、ドアに張るマグネットタイプのステッカーも間もなくでき上がる予定である。

安全対策への市の対応については、

通学路の確認、保護者の送り迎え、教職員・PTAの下校指導、地域子ども安全ボランティア、青少年相談員、青少年健全育成常陸太田市民の会等の諸団体に依頼をして、既にパトロール等の活動を実施していただいている。また、防災無線の活用や文書の回覧等での地域住民の防犯の協力を呼びかけている。さらには自警団の設置に向け準備に入っており、地域ぐるみで地域の子供たちを守るため、できるものから実施をしている。

なお水府地区のスクールバスについては、今までは決められたバス停での乗降であったが、今後は児童の家に一番近いところに停車をしてもらうことになっている。

複式学級となる学校の加配については、学校の状況等をよく説明し、機会あることに要望しているが、今のところ非常に難しい状況にある。

教育委員との話し合いについては、教育委員会定例会において、議会の質疑事項とあわせて、北小学校との意見交換会の内容についても報告、協議を行っている。

学校施設検討協議会の状況については、12月7日に第1回の学校施設検討協議会を開催し、小中学校の適正規模、学校施設の整備、幼稚園のあり方など、6項目の内容について諮問をしたところである。

## 3 市税の徴収確保対策について

厳しい財政状況が続く中、今後とも大幅な税収が見込めない状況にある。前年度の決算書の数値にあるように、収入未済額と不納欠損額があり税の公平性の観点からも、プロの徴収マンの養成とあわせて、組織体制の充実が重要である。来年度の組織体制として徴収係の設置の考えについて伺いたい。また、昨年度の確定申告の指導は円滑に行われたのか。さらに、各支所で税の相談を行っているのか伺いたい。

総務部長 徴収に当たっては、調査・質問・検査権を行使することになるのでこれらに対応するため、課題別の研修会に職員を派遣し、専門的知識の会得に努めている。

今年度は、市税全般の滞納の共同認識を高めるため、国保年金課及び介護保険課と合同で、市独自で実際に税で成果を上げている他の市町村の職員を講師に招き、市税等滞納整理実務研修会を関係課全職員対象に開催し、意識の高揚を図ってきた。今後、積極的に人材の育成を図ってまいりたい。